

災害対策専門研修「トップフォーラム」  
カリキュラム（次第）

平成19年1月26日（金）

- 10:00 開場・受付
- 10:30 開講
- 10:31 挨拶 武市 修一 徳島県政策監
- 10:35 講演「迫りくる巨大災害と自治体のリーダーに求められる役割」  
【講師】河田恵昭 人と防災未来センター長  
（京都大学防災研究所長）  
【内容】近い将来発生することが予測される東海・東南海・南海地震の特性と行政対応の課題、また行政の首長に求められる能力と災害対応の考え方等について、具体的事例を交えて講演する。
- 12:05 休憩
- 13:00 ケーススタディ「巨大災害発生後の対応方針の検討ワークショップ」  
【進行・ファシリテーター】人と防災未来センター専任研究員  
【概要】災害発生時に自治体のリーダーとして、「効果的かつ実行力のある災害対応を実施するためにどのような対応方針を立てるべきか」、その考え方の理解を深めることを目的に、被災地でのドキュメンタリー映像等を素材とした演習を行う。
- 13:00 ケーススタディ 説明
- 13:20 ケーススタディ①（55分程度）  
【内容】大規模な災害のイメージと対応方針の検討  
【検討課題】巨大災害の発生後、（およそ10時間経過後において）どのようなメッセージを住民に対して出すべきなのか？  
【素材】阪神・淡路大震災の映像資料（発災から10時間程度）
- 14:15 休憩
- 14:30 ケーススタディ②（90分程度）  
【内容】南海地震発生後の対応方針の検討  
【検討課題】南海地震の発生後、およそ1ヶ月間までの対応において、どのような目標をたて、どのような指示を出せば効果的な災害対応を実施できるのか？  
【素材】南海地震の被災シナリオ（自治体の被害状況などは仮想的なものを作成（都市部、中山間地域、津波危険地域など地域別）
- 16:00 閉会
- 16:10 徳島県立防災センター見学（希望者のみ）  
\*施設職員がご案内いたします。
- 16:40 終了予定